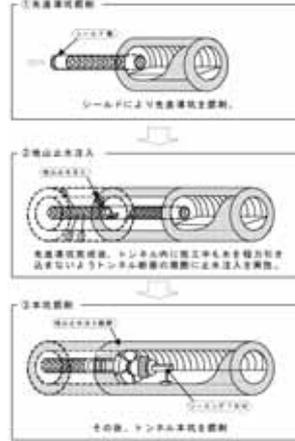


事業名 首都圏中央連絡自動車道（八王子JCT～あきる野IC）建設事業
受賞機関 国土交通省関東地方整備局 相武国道事務所
 中日本高速道路(株)横浜支社 八王子工事事務所
 東日本高速道路(株)関東支社 さいたま工事事務所
実施期間 昭和60年4月1日～平成19年6月23日



リーミングTBMの組立状況(φ12m)



城跡トンネルWT部施工手順

【事業概要と評価】

国指定の史跡である「八王子城跡」付近など、多摩地域の自然豊かな地域を通過するため、自然環境との共生と史跡の保全を図りつつ工事。
 山岳トンネルとして前例のない超高水圧の条件下、水環境保全を目指しトンネルの止水工法に多大な工夫が見られる。

事業名 神奈川県型木製ガードレールの開発及び整備
受賞機関 神奈川県小田原土木事務所
実施期間 平成18年2月～平成20年3月

Dタイプ「丸太・平板併用3本タイプ」を選定

理由1「コストが安い」 = **理由2「残材が発生しにくい」**

- 1本の丸太から横梁木材を製作コストが有利(丸太を2本使用する場合と1本で製作する場合では1m当たり約1000円程度のコスト削減となる)
- 残材が少ない(無駄なく、木材を利用することができる。)

理由3「安全性が高い」

断面積が大きい

- ① 折れにくい
- ② 飛散しにくい
- ③ 安定した部材

理由4「視線誘導機能や路線識別の付加など応用性が高い」

構造や表面の平滑性を利用
 ・視線誘導用の設置が可能
 ・また色などで異なる材質や、視線誘導の色により路線名や種別を付与することも可能
 (例) 赤一色道、黄一色道 等



国道1号 箱根町元箱根

【事業概要と評価】

優しい道路景観の確保・防護柵としての機能強化・間伐材の利用促進等を目指し、既設ガードレールの表面に木製ユニットを設置。
 その開発にあたり、デザインに関する観光客へのアンケート調査等や衝突実験の実施など住民参加や安全性確保に配慮。
 その普及のため、構造図をHPに公開するなどの工夫が見られる。